

思い出の鹿島鉄道展

～惜別かしてつバス区間廃止～



”かしてつ”と呼ばれ石岡から小川・玉造を経て鉾田を結んでいた鹿島鉄道は、102 年前の 1924 年に石岡～常陸小川間が開通し、97 年前の 1929 年に鉾田まで全通しました。83 年間この地域の交通を担いましたが、惜しまれつつ 19 年前の 2007 年に廃止されました。廃線後は代替交通である”かしてつバス”が一部区間の廃線跡に整備されたバス専用道(BRT)を経由して運行されていましたが、2026 年 3 月 31 日をもって鉾田～玉造の区間が廃止されます。ほっとパーク鉾田を路線バスで訪問可能な最後の機会に、ともえ荘と展示線での展示を行います。

期日 2026 年 3 月 29 日(日)10 時～15 時

会場 ほっとパーク鉾田(茨城県鉾田市当間 220)

第 1 会場(鹿島鉄道記念館出張展示)

鉾田市老人福祉センター ともえ荘 2 階会議室
(ほっとパーク鉾田となり)

第 2 会場(鹿島鉄道車両車内公開)

ほっとパーク鉾田鹿島鉄道車両展示線

**アクセス JR 常磐線石岡駅から関東鉄道バス「鉾田駅/新鉾田駅」行き約 60 分
「ほっとパーク鉾田入口」下車 徒歩 5 分**

かしてつバス時刻表(3/29 イベント時間帯のみ記載)

下り鉾田方面				上り石岡方面			
石岡駅	8:50	10:00	13:15	新鉾田駅			16:05
HP 鉾田入口	9:49	10:59	14:14	鉾田駅	12:45	14:40	16:15
鉾田駅	9:55	11:05	14:20	HP 鉾田入口	12:48	14:43	16:18
新鉾田駅		11:15		石岡駅	13:55	15:50	17:25

※HP 鉾田入口＝ほっとパーク鉾田入口停留所から開催場所まで徒歩 5 分

IC1 日乗車券(大人 800 円)がお得です

詳しくはこちら <https://www.kantetsu.co.jp/bus/iccard#daypass>

主催 鹿島鉄道保存会・鉾田駅保存会(共催)

協力 関東鉄道株式会社

お問い合わせは右記アドレスへ hokota-station@rail.nifty.jp



鹿島鉄道について

1924年に石岡～常陸小川が鹿島参宮鉄道として開業し、終点の鉾田へは1929年に達し全線開業した。

1944年に竜崎鉄道の移譲をうけ、1965年に常総筑波鉄道と合併し関東鉄道となり、石岡～鉾田の路線は、同社の鉾田線となった。

1979年に関東鉄道より経営を分離され、子会社の鹿島鉄道となる。

2001年に同社の営業収入の屋台骨を支えていた航空自衛隊百里基地への燃料輸送が中止となり経営は極度に悪化、親会社の経営支援と沿線自治体の公的支援により営業を継続したが、存続運動も及ばず、2007年3月31日をもって営業を終了した。

廃線時の9両の保有旅客車両のうち、3両が小美玉市の鹿島鉄道記念館で、1両が小美玉市の小川南病院の介護施設はるるの郷で、2両が鉾田市の温泉施設ほっとパーク鉾田で保存されている。

鹿島鉄道の位置



鹿島鉄道保存会

展示場所：鹿島鉄道記念館（茨城県小美玉市 ※住所非公開）

事務局：埼玉県川口市東領家 4-3-14

Facebook：https://www.facebook.com/kashitetsu

鹿島鉄道保存会は、2007年3月末をもって廃止された鹿島鉄道の気動車3両(KR-501・キハ 431・キハ 714)をはじめ関連物品・資料・写真等を保存展示している「私設・鹿島鉄道記念館(通常は非公開)」の運営サポートを行っている任意団体で、旧かしてつ応援団をはじめとする存続運動関係者や鹿島鉄道愛好家などの有志で構成され、「鹿島鉄道が心の底から好きだった」という共通認識でつながっています。

2024年6月に小美玉市アピオスにて「かしてつ石岡～常陸小川間開通100周年記念事業」を鉾田駅保存会・小川南病院との共催で開催し、鹿島鉄道・かしてつバスの写真や資料を展示したほか、地域公共交通をテーマとした『記念シンポジウム』を開催しました。2025年10月には関東鉄道勝波ノ江駅にて「思い出の筑波鉄道・鹿島鉄道展」を開催、同年11月にバスツアー形式で鹿島鉄道記念館の特別公開を実施しました。

今後の活動予定や鹿島鉄道記念館の公開については、当会 Facebook ページでお知らせしています。



復元した鉾田駅出口口



自社発注車の KR-501 と夕張鉄道出身のキハ 714

鉾田駅保存会

展示場所：茨城県鉾田市当間 2 2 0

ほっとパーク鉾田 鹿島鉄道展示線

事務局：茨城県水戸市上河内町 1 6 2

川津方

E-mail: hokota-station@rail.nifty.jp

Web: https://hokotaeki.jp



2007年3月に廃止になった鹿島鉄道の車両の保存を行うため、2007年12月に設立された任意団体です。現在は鉾田市の温泉施設『ほっとパーク鉾田』に展示されている、鉾田市所有の鹿島鉄道の気動車『キハ601』と『KR-505』の保存活動をしています。

毎年3月下旬から11月下旬までの月1回、展示車両の車内公開を実施しています。公開日程は上記ホームページをご参照ください。また、寒さで訪問される方が少なくなり、かつ天候の安定する12月から翌年3月の期間は、車両の保守・修繕作業を行っています。

『キハ601』は昭和11年(1936年)製造で今年90歳になります。鹿島鉄道廃線時には車齢71で全国最古の現役気動車でした。『KR-505』は平成4年(1992年)製造の鹿島鉄道最新の気動車でした。